

委員長方針

一般社団法人摂津青年会議所
総務委員会
委員長 川端 幸一

本年度、総務系委員会 委員長の大役を拝命し、責任の重さを実感すると共に成長する機会を与えて下さったことに感謝いたします。1月度例会・総会では理事長が掲げられた2021年度のスローガン・基本理念の下、メンバー全員が一致団結し同じ方向を向いて次へと歩み出せるスタートラインとします。また最高意思決定機関である総会に於いては単なるセレモニーではなく、まちのため、地域のために一人ひとりの力が集結する場だということを再認識していただき、より高い意識の中で臨めるように運営し、理事会では定款・諸規定に基づき円滑に実施できるように設営を行います。8月度例会・総会では2021年度を進めた半年の歩みと残りの事業を成功へと導くべくLOMの方向性を再確認し、12月度例会では1年間のJC活動に対する正会員への褒章および慰労を行い、本年で卒業される卒業生を盛大に送り出します。

昨年は新型コロナウイルスが引き起こしたパンデミックの影響により、私たちの生活にも甚大な影響を及ぼしました。青年会議所の運動・活動も一時期は対面しての例会や事業を行うことが難しく、これまでには無いオンライン形式での例会を試みるなど新しい手法や工夫を用いた変革の年になったと感じています。しかしながらこの脅威は今もなお続いており、予断を許さない状況だと言えます。そういった状況下で今なにを成すべきか、理事長所信にある「行政や各諸団体とのパートナーシップを強固にしていくこと」が重要であると私は考えます。同じ摂津市という地域で活動されている各諸団体に対し、今年度の運動方針を示して理解促進を進めることでつながりを深め、地域社会が求めている事業の展開や運動につなげてまいります。また各諸団体に出向している理事メンバーの情報を共有することで内外に向け、正しい情報を発信する体制を整えたいと考えております。

一般社団法人摂津青年会議所の過去46年間の歴史は「明るい豊かな社会」の実現のために先輩諸兄が紡いでこられた、青年の想いと伝統の歴史に他なりません。その想いや伝統を本年も絶やすことなく、次の世代へつなげていくためにも会員拡大は最重要課題の1つです。地域のオピニオンリーダーとして志を同じうする者同士が集い、力を合わせることでまちづくりは大きく発展し、その志は未来へと受け継がれます。誰かがやるだろうという他力本願の精神ではなく、自分が率先してやるとのリーダーシップや当事者意識が持てるような拡大への意識改革を行ってまいります。また各委員会とも連携を取りつつ、効果的な手法を用いて一丸となって会員拡大を推し進めてまいります。

委員会運営では配属されたメンバーの成長を念頭に置いた運営を心掛けていきます。苦手なことに対して挑戦するチャレンジ精神や向上心を養っていただき、次年度を迎える時に今年1年間で成長することが出来たと感じてもらえるような人財を育てます。

最後になりますが、皆様にはご指摘を多々頂戴することもあるかと思いますが、職務を全うするために全力で取り組んでいく所存です。先輩諸兄の皆様、そしてメンバーの皆様、ご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。